

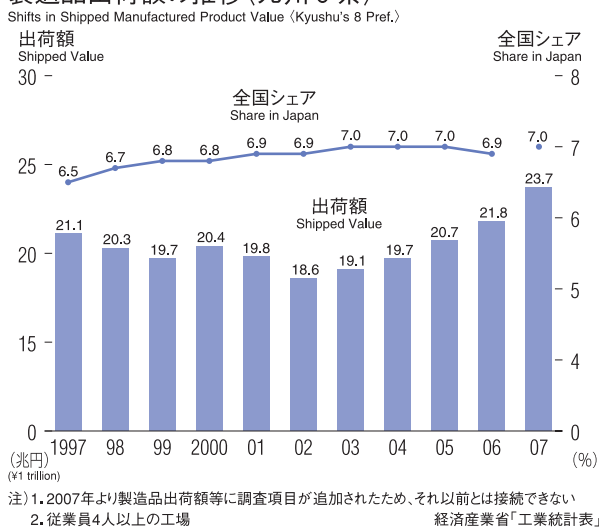
第5章 産業 (3) 製造業～概況

C.5 Industries (3) Condition of the Manufacturing Industries

■ 5年連続で増加した製造品出荷額

2007年の九州8県の製造品出荷額は、23兆7,105億円となった。九州8県の全国シェアは、1997年の6.5%から7.0%へと高まっている。また、九州8県で出荷額の業種別構成比をみると、2007年は高い順から電気機械、輸送用機械、食料品、一般機械、鉄鋼、化学工業となっている。自動車関連企業の新設・増設が相次いだため、1997年から2007年にかけて輸送用機械の比率が4.2ポイント高まった。出荷額上位業種の中では、食料品、飲料・たばこ・飼料、電気機械、窯業・土石、鉄鋼の比率が全国と比較して高い。

製造品出荷額の推移(九州8県)



出荷額上位10業種の製造業全体に占める構成比

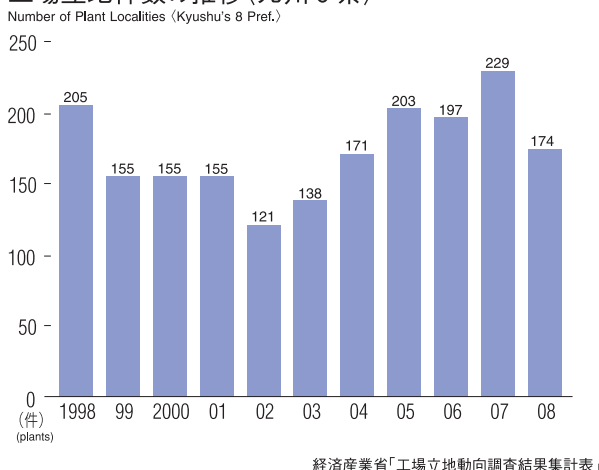
業種	九州8県		全国
	1997	2007	2007
1 電気機械	17.4	17.9	16.4
2 輸送用機械	11.5	15.7	19.0
3 食料品	12.8	11.9	7.2
4 一般機械	6.9	8.1	10.8
5 鉄鋼	6.1	7.5	6.3
6 化学工業	6.2	6.8	8.4
7 飲料・たばこ・飼料	7.3	6.7	3.0
8 金属製品	5.5	4.1	4.5
9 窯業・土石	5.9	4.0	2.5
10 石油・石炭製品	2.1	3.6	4.1

注) 1. 業種は2002年以前の業種区分による
2. 秘匿データの県を除いて九州8県を集計した

■ 大きく減少した九州の工場立地件数

2008年の九州8県の工場立地件数は174件と前年を大幅に下回った。立地件数は2002年を底に増加傾向にあったが、08年は下期からの急激な景気の悪化により、金属製品、輸送用機械器具、電子部品・デバイスなど、近年増加傾向であった自動車や半導体関連の業種が一転して大きく減少した。工場立地件数の地域ブロック別の構成比をみると、九州のシェアは1999年以降低下傾向にある。一方、関東、東海、近畿の3大都市圏が近年シェアを伸ばしている。

工場立地件数の推移(九州8県)



工場立地件数ブロック別構成比の推移

